

平成30年 水稻害虫トラップ情報（8月上旬）

1 アカヒゲホソミドリカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップによる第1世代の誘殺数は、青森では平年より多かったものの、他の地点はほぼ平年並で、第1世代の誘殺は終息に向かっています。一部第2世代の誘殺が始まっているものと考えられます。

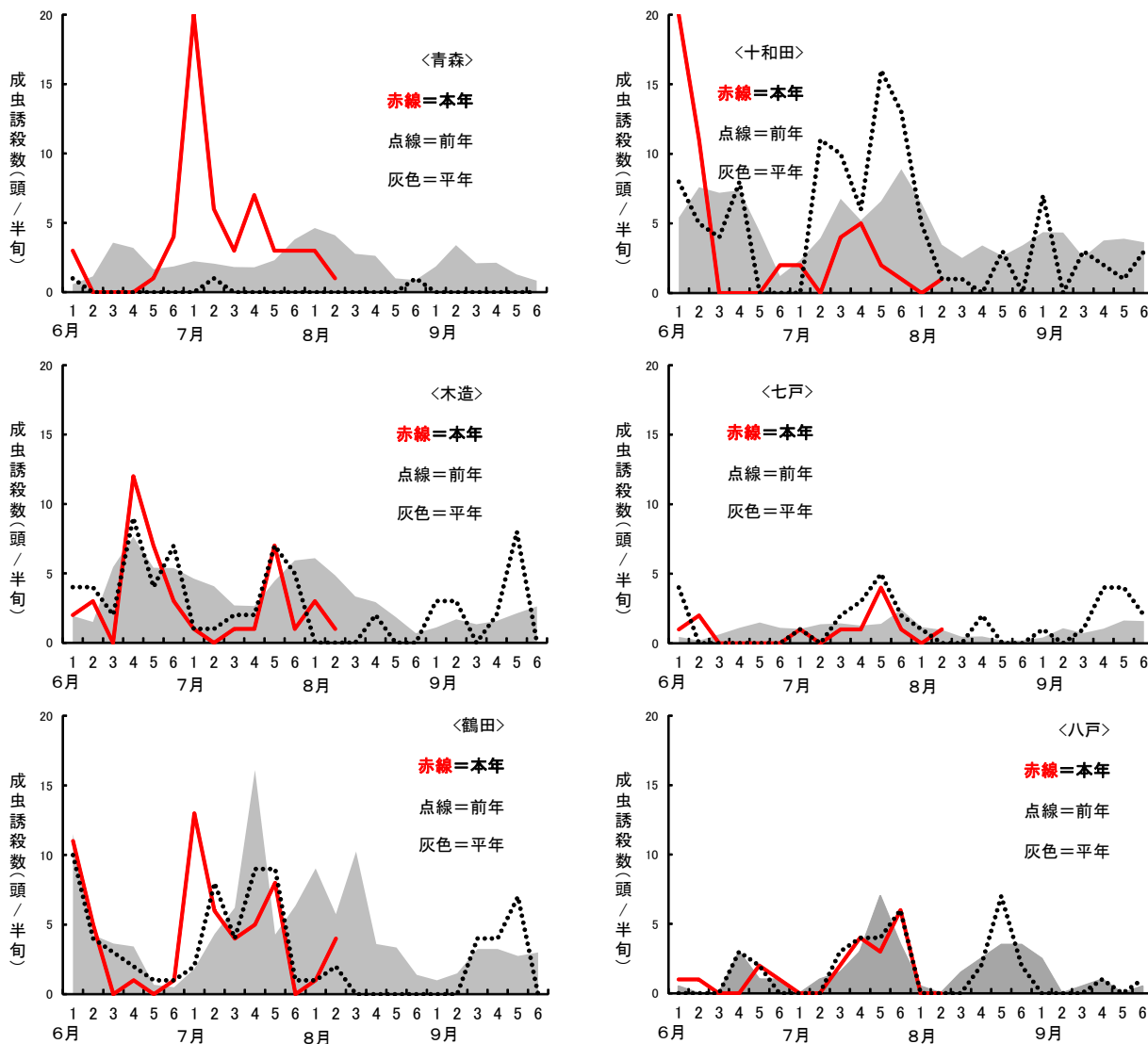


図1 性フェロモントラップによるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数
平年値は、青森8年、木造6年、鶴田4年、十和田10年、七戸9年、八戸2年の平均値

(2) 予察灯でのアカヒゲホソミドリカスミカメ第1世代の誘殺は6月下旬からみられ、7月5半旬までの誘殺数は青森では平年より多く、木造は平年よりやや少なくなっています。十和田、八戸では7月第3～5半旬の誘殺数は平年を上回っています。いずれの地点でも、第1世代の誘殺は終息に向かっています。

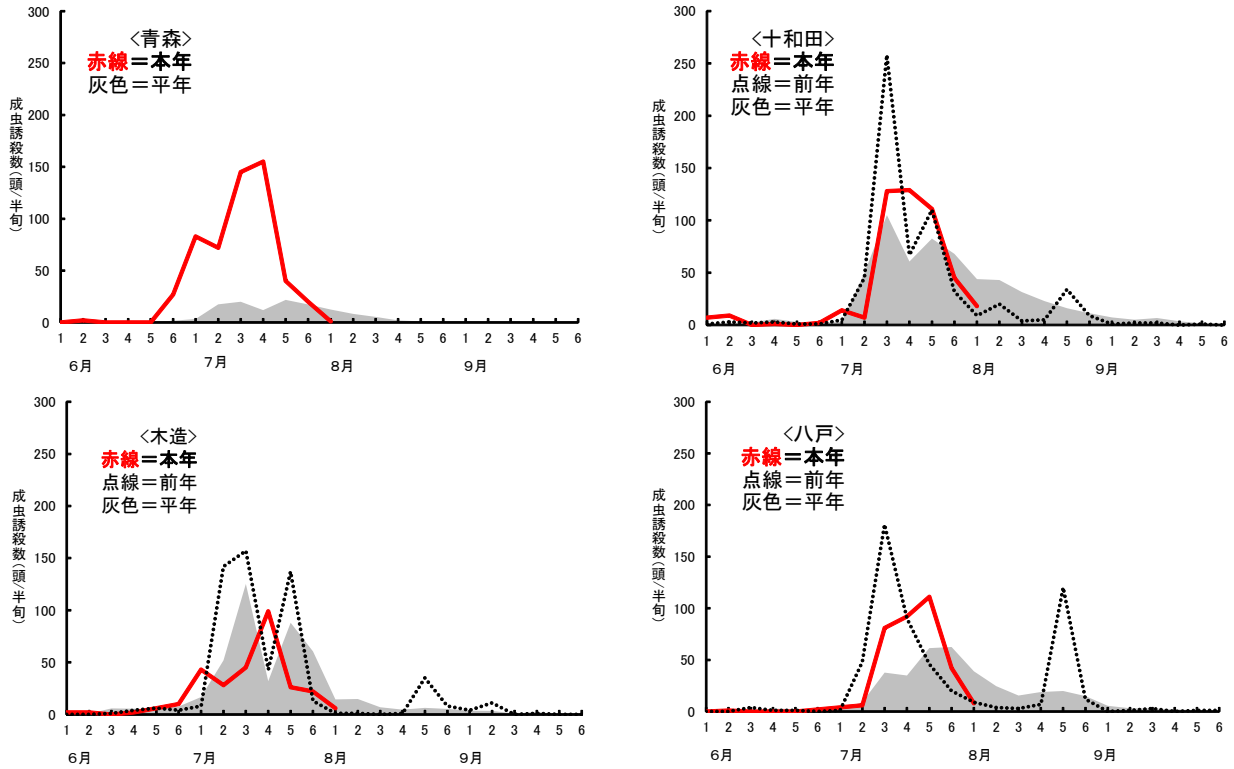


図2 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの半旬別誘殺数
(青森は前年値なし)

2 アカスジカスミカメ

(1) 畦畔に設置した性フェロモントラップでの誘殺数は、青森と木造で平年よりやや多いものの、他の地点は7月以降誘殺されていません。

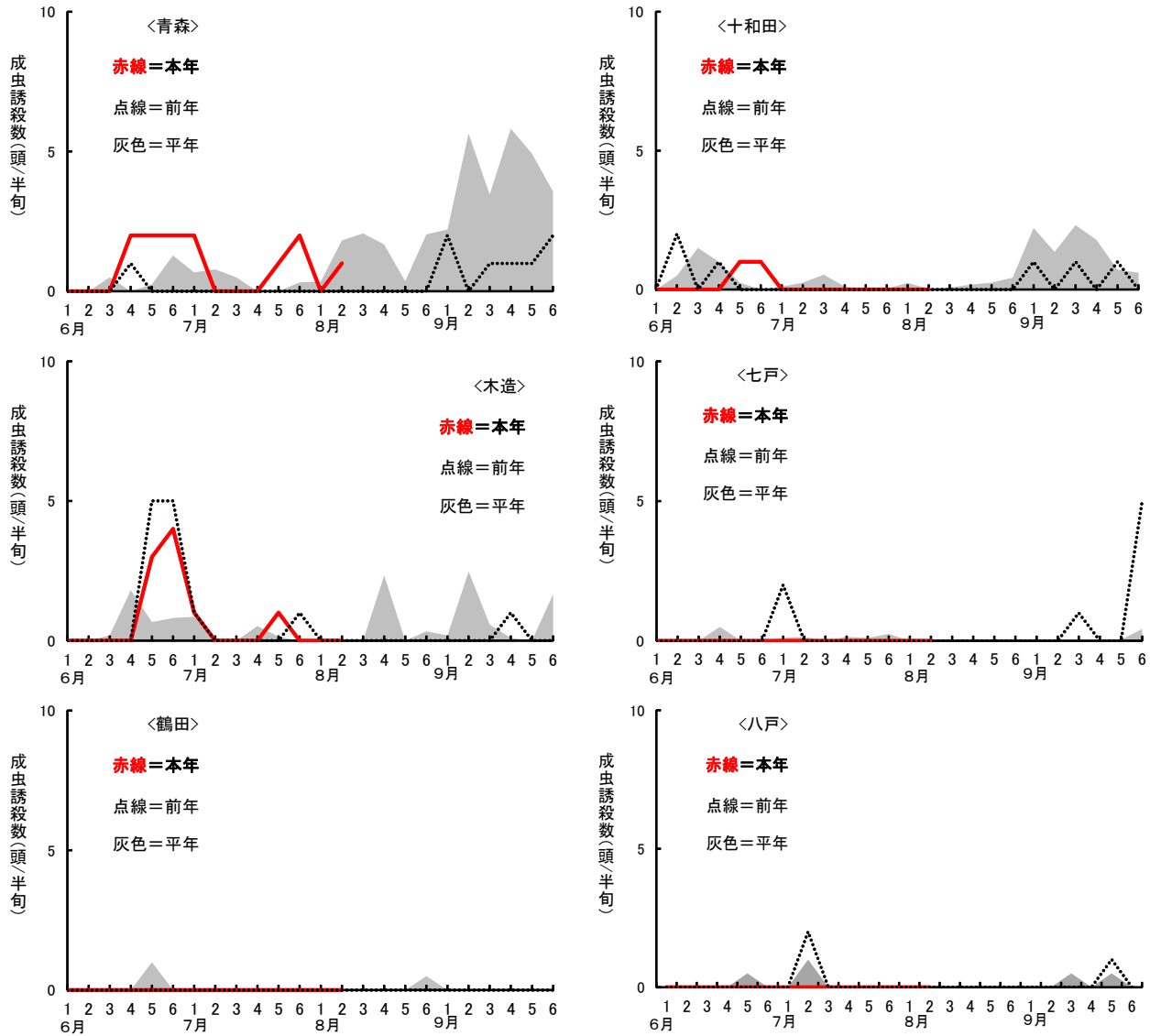


図3 性フェロモントラップによるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数

平年値は、青森5年、木造4年、鶴田3年、十和田5年、七戸5年、八戸2年の平均

(2) 予察灯では、アカスジカスミカメ第1世代と考えられる誘殺が、平年より早い6月中旬から見られ、6月下旬以降、青森は誘殺が多く、木造は平年よりやや多くなりました。8月に入り津軽地域では、第1世代の誘殺は終息したようです。県南地域では、7月中旬以降、平年よりやや少なく推移しています。

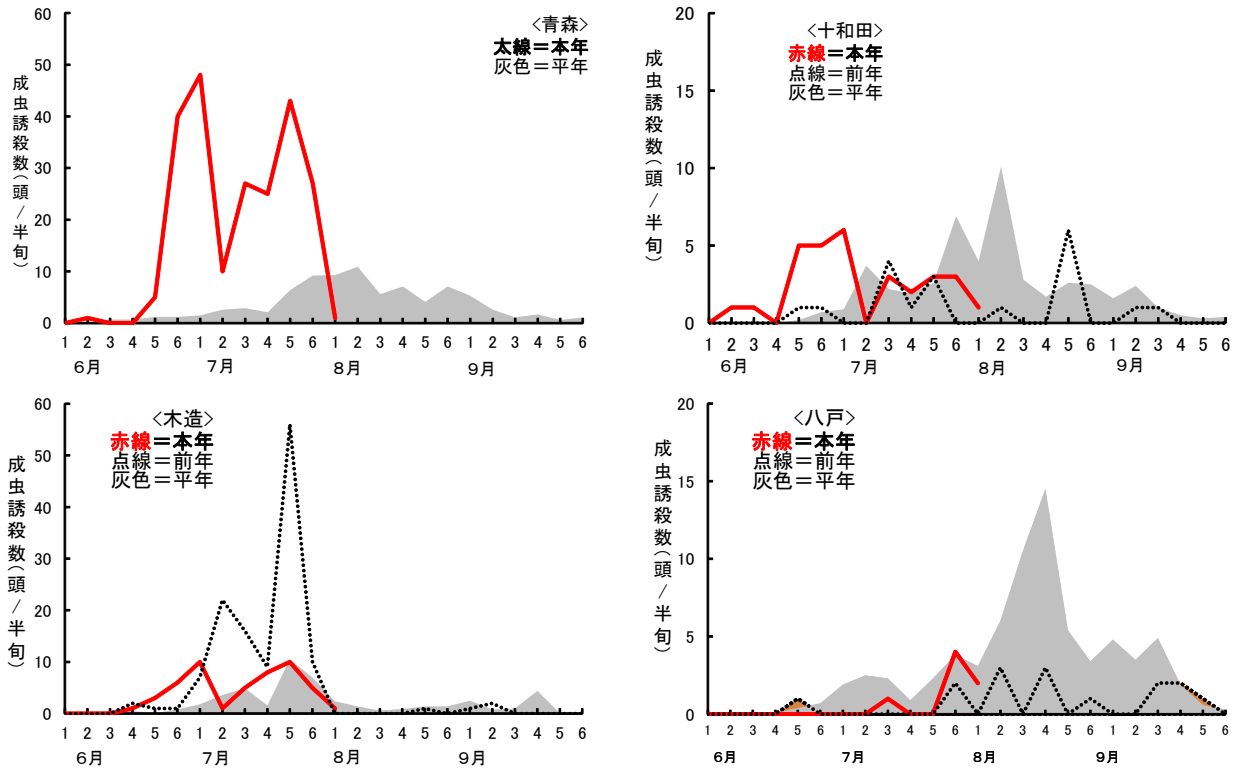


図4 予察灯によるアカスジカスミカメの半旬別誘殺数
(青森は前年値なし)

3 フタオビコヤガ

(1) 性フェロモントラップによる第2世代の誘殺は7月下旬から始まり、誘殺数は木造、鶴田で平年より多いものの、他の地点では平年より少なく推移しています。

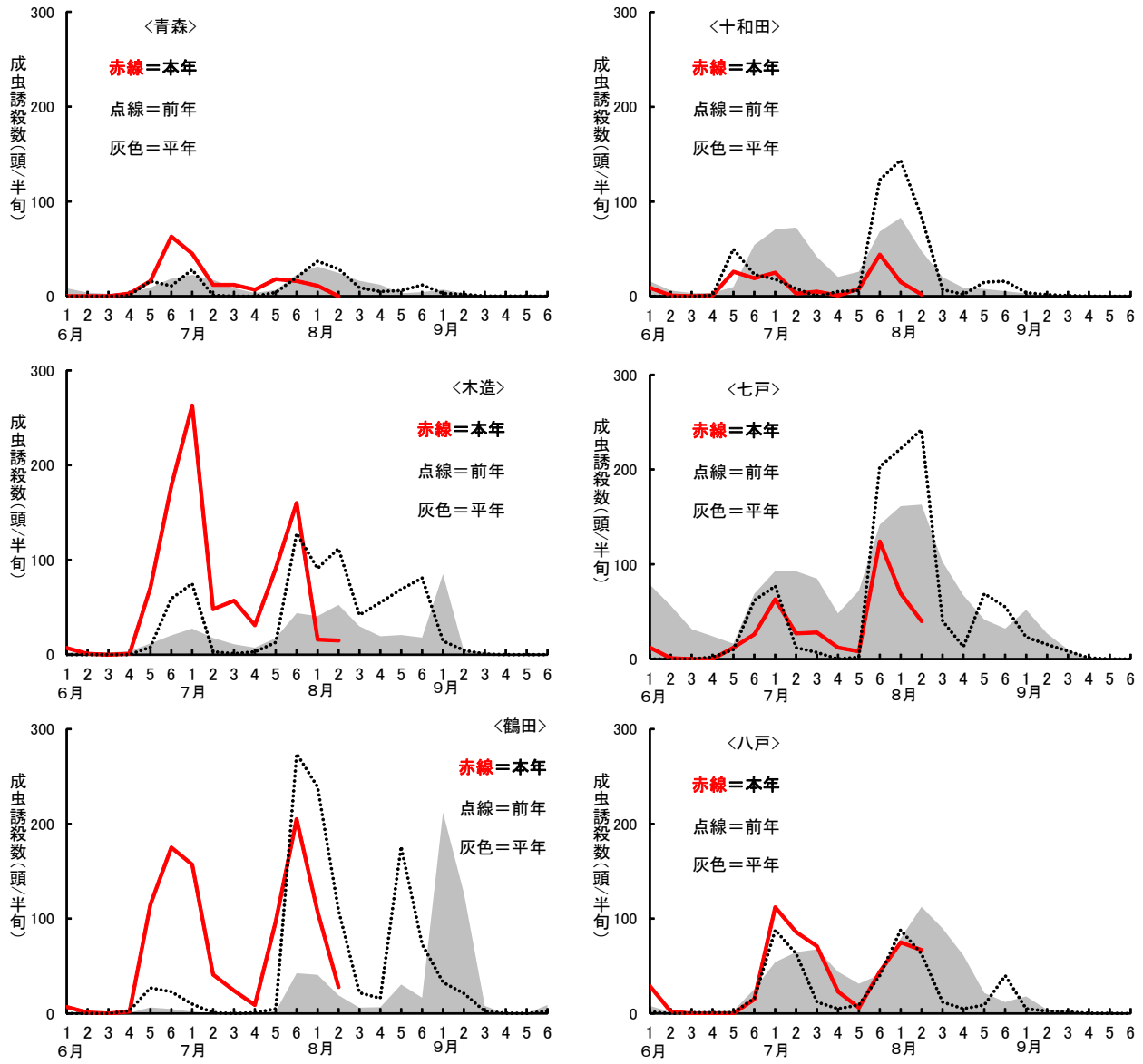


図5 性フェロモントラップによるフタオビコヤガの半旬別誘殺数

平年値は、各地点9年の平均

(2) 予察灯でのフタオビコヤガ第2世代の誘殺は、性フェロモントラップと同様に7月下旬からみられ、誘殺数は津軽地域では平年より多く、県南地域では平年並～やや少なく推移しています。

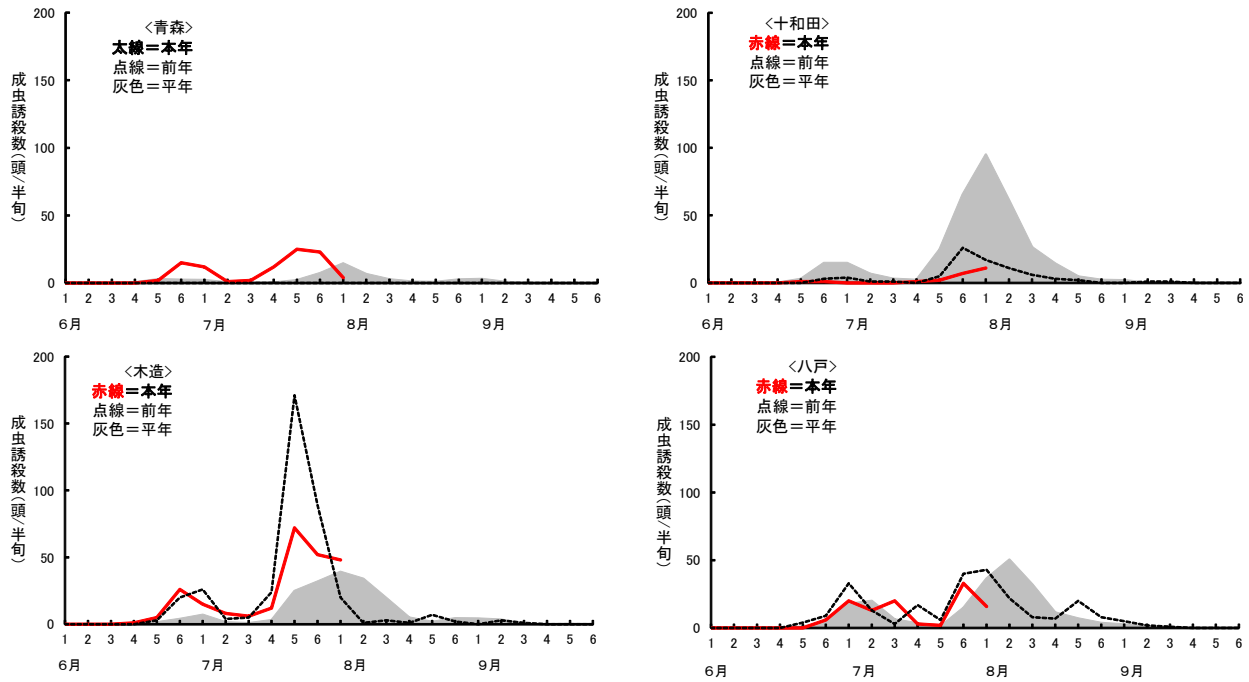


図6 予察灯によるフタオビコヤガの半旬別誘殺数
(青森は前年値なし)

《当情報に関する問い合わせ先》

青森県病害虫防除所 〒030-0113 青森市第二問屋町4-11-6
TEL:017-729-1717 FAX:017-729-19001 担当：市田